

ぺこかり

日高南部森林管理署



えりもワクワク森林づくり体験事業植樹祭

平成23年6月3日、えりも町庶野の町有牧野において植樹祭が開催されました。心配された雨・風もなく穏やかな良い天気の中、えりも漁協女性部や日高振興局、えりも・えりも岬両小学校生など総勢約250名の参加者が集まり実施されました。植樹後は、各植樹箇所に記念標柱を設置し、最後に西舎森林事務所で作成した、えりも国有林のクロマツ間伐材のコースターを、森林整備部長から小学生代表へプレゼントされました。

労働災害の未然防止についてぜひ後に向けて

労働安全の確保については、人命尊重を基本理念として、安全管理体制の活性化、基本動作の徹底、作業基準の遵守等により、重大災害はもとより労働災害の撲滅を目標に、局・署・現場一体となって取り組んでいるところです。

今年度の国有林野事業安全週間は、『安全は いかなる時も最優先 過去の事例を思い出し 基本を守って安全作業!!』のスローガンの下、6月の準備期間、7月1日から7日までの本週間において、①安全標語の募集、②署内職員によるリレー方式の安全旗の掲揚、③交通安全講話、④救急法訓練、⑤産業医による衛生講話、⑥総括安全管理者等の現場巡視などの様々な取り組みを展開してきました。

これらの取り組みにより、安全週間期間中を含め、これまで公務災害の発生はなく、『無災害』を継続しているところです。

例年、8月を「ゼロ災害月間」と定め、安全諸対策の推進定着状況を確認するなど安全

時期は暑さにより集中力や注意力が散漫になること、また、お盆休みも入ること、さらには、当署においては、平成21年度から二年連続で公務災害が発生していることから、「連鎖的な発生」、「重大災害発生への懸念」を危惧しているところです。

このようなことから、安全管理者等は、それぞれの役割と責任を自覚するとともに、『労働安全の確保について』（平成13年3月30日付け12林国職第56号）等に基づき、安全管理体制の充実・強化に努めるようお願いいたします。

今後は、当署の年間スローガン『安全作業は時間と心のゆとりから みんなで築く無災害』の下、初心にかえり労働災害を絶対起こさないとの強い信念で、署全体で「安全で明るい職場」を目指し、職員の健康管理の推進とともに、今後とも『無災害』を達成するため、職員の皆さんの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

【次長】

安全大会～交通事故防止・救急法を学ぶ



静仁会静内病院 井齊院長



心肺蘇生法



交通安全講話

七月一日、安全週間行事の一環として、三つの講話等を実施しました。

交通安全については、静内警察署の後藤交通課長から、始めに質問形式により「道内死亡者数、ドライバーの60人に一人は事故当事者、予測運転が大事。」等の説明があり、また、「償い（マダマダし）」という歌を聴いた後、「事故は、故意で起こす人はいないが、残された家族は・・・一人一人の安全運転の積み重ねが重要。」と心に問いかける講話をいただきました。

救急訓練については、日高中部消防組合消防署の岡部技官から「心肺蘇生法とAEDは、二つで一つの救命法であり、連携して行うことが重要。」等の説明を交えた実技指導を受けました。若手職員が積極的に実技参加し、充実した訓練となりました。

衛生関係については、産業医の先生から、『睡眠時無呼吸症候群』の説明があり、「寝ている間に酸素不足状態となり、体に様々な悪影響を及ぼす。自覚の無い人が多い。」とのことで、先生自身が使用している治療キットの実演も交えた貴重な講話をいただきました。なお、イビキをかく方は一度検査を受けてみてはいかがでしょうか。

【総務課長】

平成23年度 安全標語優秀作品

年間スローガン

安全の部

安全は時間と心のゆとりから

みんなで築く無災害

小針 敏和



忘れるな ヒヤリで済んだあの教訓

基本に戻って無災害

大水 貴博



慣れた作業に落とし穴

初心を忘れず安全作業

小針 敏和



慣れた作業に潜むワナ

基本動作を忠実に!!

山下 勇氣



交通安全の部

ゆずり合い ゆとりじの気持ちで 安全運転

石黒 雅人



スピード控えてライト点灯

危険予知して防衛運転

中村 茂秋



JICA訪問 ～キルギス研修生がえりも緑化式工法を学ぶ～



5月17日～18日、JICAキルギス国別研修「森林経営」コースの一行がえりも岬国有林を訪れました。研修員は営林署の署長が3人、村長が2人の計5人です。初日は署長の挨拶の後、ビデオで緑化事業の歴史を説明し、第一展望台で蘇ったクロマツ林を見てもらいました。研修員から「この厳しい環境の中で緑を蘇らせたことはとてもすばらしいです。」と嬉しい言葉をいただきました。また、管理塔からは、森と海のコントラストを見てもらいました。キルギスには海が無いので、初めての海に感動していました。二日目は地域住民との対話集会を行いました。えりも副町長をはじめとする役場、森林組合の方々が出席し、最初に現在の緑化事業



と様々な取り組みについて説明をしました。対話集会では、「植樹などで次世代の環境意識を育てているのがすばらしい。」という意見をいただきました。キルギスでは生活のため、森林資源の略奪は仕方ないという意識がまだあるそうです。また、「キルギスには公有林がなく、国には管理費がほとんどない。」という問題があり、日本の森林組合に関心を持っていました。日本で学んだことはすべて興味深く、とても勉強になったようです。私たちも勉強になる意見を聞くことができ、充実した2日間でした。

【えりも治山事業所主任】

えりもワクワク森林づくり 体験事業植樹

六月三日、「えりもワクワク森林づくり体験事業植樹祭」が、えりも町庶野の町有牧野において開催されました。

当日は心配された雨・風もなく穏やかな良い天気の中、えりも漁協女性部や日高振興局、えりも・えりも岬両小学校生など総勢約二五〇名の参加者が集まり実施されました。また、えりも町長、えりも岬を守る会会長のほか、石井森林整備部長、上平署長も来賓として出席されました。

今回は志田えりも治山事業所主任の植樹指導の後、今年は、トドマツとオオヤマザクラ各二〇〇本を植樹しました。



ここでは、地元漁協婦人部の方々が「お魚を増やす運動」と銘打ち率先して植樹をするのも習わしとなつておりますが、今年も、「国際森林年」ということもあり例年以上に思いを込め、常連さんは慣れた手つきで手際よく、今年が植樹初体験の小学生たちは小さな体で大きなクワを持ち上げ一生懸命植えていました。

植樹後は、各植樹箇所にて記念標柱を設置し、最後に西舎森林事務所で作成した、えりも国有林のクロマツ間伐材のコースターを、森林整備部長から小学生代表へプレゼントされました。

コースターには、「国際森林年のロゴマークが入っており、植樹祭の良い記念になったと思います。」

【流域管理調整官】

バットの森づくり植樹祭

7月10日(日)、アオタモ資源育成の会と日高南部森林管理署との共催で、今年で第8回目となる「平成23年度バットの森づくり植樹祭」を開催しました。

植樹会場は新冠町美字国有林2-001林班の小班で、地元自治体等職員、分収育林契約者、森林愛護組合、ボランティア団体、札幌工業高等学校野球部、美字スポーツ少年団を招待して、約140名の参加者で盛大に行われました。

当日は、札幌から来た貸し切りバスが林道を走行できなく、開催時間が少し遅れるというアクシデントもありましたが、日高南部森林管理署長の主催者挨拶から始まり、来賓として



新冠町副町長の挨拶をいただき、若園森林官の植樹の方法の説明を受けながら、東理事務官による植付の実演後に植樹を行いました。

苗木は、10年生のアオタモで千本、新緑の中、参加者全員が笑顔で心地よい汗を流し植樹をしました。

前日の天気予報では降雨で、植樹祭開催も危ぶまれ、2年連続、雨天中止にハラハラしていた某課長も、「雨男」返上というところでしょう。植樹終了時には植えたばかりのアオタモの苗木に真夏の太陽も照りつけていました。

最後になりますが、植樹祭の開催にご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

【技術専門官】

中高一貫教育・中学生編 ～「えりも百人浜に学ぶ」講演会～

今年も、第六回「えりも地区連携型中高一貫教育・百人浜に学ぶ」が行われました。

これは、えりも中学校2年生の生徒50人が、えりも緑化事業の歴史と環境問題について学び、えりも森林づくりに貢献するというものです。

6月8日、フィールド学習の前に「百人浜に学ぶ」講演会が開催されました。講師は去年と同じく、緑化事業開始の当初から当時の営林署職員として事業に携わってきた、飯田

鉄造氏にお願いをしていますが、急遽都合が悪くなりえりも治山事業所主任が飯田氏に代わり、緑化事業の苦労と中学生へのメッセージを伝えました。講演では、当時のえりも砂

漠の様子や緑化事業で行った試験・調査方法を説明した絵図を見てもらいながら、現在の豊かな森林がよみがえるまでにどれほどの苦労を積み重ねて

きたのかを丁寧に説明しました。

1時間以上に及ぶ講演になりましたが、生徒たちはみんな真剣に話を聞いてくれました。最後に、「皆さんも誇りと希望を持って森づくりを頑張ってください。」という飯田氏のメッセージを伝えると、代表の生徒が「私たちも植樹できるのを楽しみにしています。」と挨拶をしてくれました。生徒達は、

地元の森林が貴重なものだと知り、環境資源の大切さを学んでくれたようでした。

【えりも治山事業所主任】



講演会の様子

えりも地区連携型中高一貫教育

6月13日、えりも中二年生50人が、えりも岬国有林のクロマツ林内において、カシワの苗木を植樹しました。

えりも高校との連携型中高一貫教育の環境教育「百人浜に学ぶ」フィールド学習の一貫で、最初に上平署長から森林管理署の役割と国有林が国土保全や水源涵養、二酸化炭素の削減で地球温暖化防止にも貢献していること、砂漠化していた百人浜が地元の人たちの努力で蘇ったことの説明と、森林を大切にすることが気持ちを引き継いでもらいたいこと、さらに、今年の国際森林年についての説明を行いました。その後、志田えりも事業所主任か



ら、カミネツコンの作り方を説明し、西舎、三石森林事務所職員やひだか南森林組合職員、町職員等のサポートを受けながら、段ボールの型紙を折り、濡らした新聞紙を詰め込んで完成させました。

植樹場所では、カミネツコンに土と苗木を入れ、事前に準備していた各自のネームプレートをつけ三人一組になって植樹しました。

作業終了後、生徒代表から「多くの知識を学べ、また、楽しく作業できました。」と関係者に感謝の言葉があり、上平署長からはクロマツ間伐材で作成したコースターを生徒たちへプレゼントしました。後日、生徒たちからお礼や感想文が届きました。貴重な体験と受け止め、意義のあるものと感じてもらえたようでした。

【えりも治山事業所主任】

結婚おめでとう



この度おめでたく、当署販売係長の「井神翔太」君と「板橋祥子」さんが平成23年5月28日に入籍しました。二人は一年の交際を経て、井神君の転勤をきっかけに離ればなれになるのが寂しくなるため結婚を決意したようです。これから楽しい家庭を築いていけるよう、公私ともに頑張ってください。



現場だより

奥静内・春別森林事務所

森林官 大水貴博

早いもので、もうすぐ夏を迎えようとしている今日この頃です。

現在、事業は主に地林況調査を行っています。防蜂網を被りながらの作業になりますが、心地良い汗をかけるのも現場作業ならではだと思います。

私の担当している区域は、日高山系の麓まであり、自然豊かな森林です。貴重な動植物も数多く生息しているので、楽しみもあり、事業実行には気を使う面も多々あります。現在は花の咲く時期が少し過ぎましたが、まだまだ可憐な花を見せてくれます。



たもぎ茸

ヒダカミセバヤ



キタキツネの子供

また、少し前ですがキツネの子供にバツリ遭遇しました。母キツネの元に戻ろうと頑張っていました。

このように、近くで見れる環境にあることを感謝しなくてはと思いました。山の恵みというのも多々あります。今時期では、「タモギ茸」をたくさん見かけます。独特の香りがあり、美味しいキノコですが、住み着いている虫が難敵です……。

これから益々熱くなって行きますが、体調管理に気をつけて、年度計画を立てたものの事業実行を確実に、無災害目指して頑張っていきたいと思えます。

転入者紹介

4月1日付・6月1日付



署長
上平 清治

4月1日付でお世話になります上平です。道北勤務が大半で初めての道南勤務です。雄大な太平洋と急峻な日高山脈に負けないよう頑張ります。



流域管理調整官
藤嶋 辰昇

流域管理調整官の藤嶋です。

ビールをこよなく愛するのんべえ親父です。『楽しく仕事をする』をモットーとしております。どうぞ宜しくお願いします。



業務第二課長
清水口 英

4月から業務第二課で勤務する

ことになりました清水口です。皆さんと協力しながら頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



総務課長
東 光明

4月1日付けで空知署から来ました東(アズマ)です。

総務の仕事は初めてで、物忘れが激しいため御迷惑をお掛けしますが、どうぞよろしくお願い致します。



総務係長
作田 明

4月1日付けで網走中部森林管理署から来ました作田です。

出身は十勝の音更町で高校は帯農です。総務は初めてですが、よろしくお願ひします。



販売係長
井神 翔太

4月1日付けで石狩森林管理署か

らきました販売係長の「ミカミ」じゃなくて「イガミ」です。どうぞよろしくお願い致します。



販売係員
三上 祥隆

4月1日付けで日高北部署からきました販売係の「イガミ」じゃなくて「ミカミ」です。

どうぞよろしくお願い致します。



治山第二係長
大谷 朋未

4月1日付けで日高北部署から治

山第二係にきました大谷です。初めての係に、新任係長と、不安がありますが、がんばりますので宜しくお願いします。



治山課長
平井 英朗

6月1日付けで、道局指導普及課から参りました平井です。今回の異動は青天の霹靂で、全ての整理が追いついていませんが、よろしくお願い致します。

四月～七月行事結果

【4月】

1日 辞令交付
平成23年度事業予定説明

11日 安全点検（新冠地区）

12日 建設機械賃借単価契約入札
安全点検（静内地区）

14日 安全点検（浦河地区）
VDT点検（浦河地区）

18日 産業医現場巡視（静内地区）

18日 本庁臨時監査

19日 北海道地域材利用推進方針説明会

25日 造林事業（保全整備造林第1号）請負入札
安全衛生管理担当者会議

26日 消火訓練

26日 国際森林年「森林づくりフォーラム in ひだか」

27日 安全衛生委員会
森林官等会議

29日 安全衛生委員会
えりも岬の緑を守る会総会
レクリエーション委員会

【5月】
9日 体験林業「年輪クラブ」仕事始め式

9日 連休後の安全の呼びかけ
（静内・浦河地区）

10日 林道工事（三石林道高見線災害復旧）
請負入札

11日 林道点検（静内地区）

11日 切込砂利単価契約入札

12日 安全点検（浦河地区）

13日 林道点検（新冠地区）

13日 林道点検（浦河地区）

16日 VDT点検（浦河地区）

16日 産業医現場巡視（浦河地区）

17日 林道点検（新冠地区）

17日 林道点検（浦河地区）

17日 18日 JICAキルギス国別研修
（えりも）

【6月】

18日 安全点検（静内地区）

19日 林道点検（新冠地区）

20日 静内消防団等合同春季消防演習

20日 安全点検（東川地区）

23日 札幌地区署長等会議

23日 治山事業（海岸防災林造成）請負入札

24日 新ひだか町鳥獣被害防止対策協議会総会

24日 新ひだか町誕生五周年記念事業

24日 「森は海の恋人運動」国道周辺緑化事業
植樹祭

25日 新ひだか観光協会通常総会

27日 安全衛生委員会

31日 第1回環境教育百人浜に学ぶ関係事業所
会議

【6月】
3日 えりもワクワク森林づくり体験事業植樹祭

6日 日高地方安全運転管理者事業主会通常総会

6日 VDT点検（浦河地区）

7日 産業医現場巡視（静内地区）

7日 眼底・眼圧・ドライアイ検査

8日 「えりも百人浜に学ぶ」講演会

9日 安全点検（静内地区）

10日 安全点検（浦河地区）

10日 眼底・眼圧・ドライアイ検査

13日 えりも地区連携型中高一貫教育
森林環境保全整備事業（保育間伐）請負入札

14日 建設工事労働災害防止に関する工事発注
機関との連絡会議

14日 物品（事務用品類外）購入入札

15日 眼底・眼圧・ドライアイ検査

15日 静内地区安全運転管理者等協会定期総会

16日 安全点検（東川地区）

16日 署長請負現場巡視（林道事業）

17日 定期一般健康診断（婦人科検診）

17日 自動注射器等交付（問診）

【7月】

1日 安全衛生管理担当者会議（交通安全講話）

1日 安全大会（救急訓練・衛生講話）

5日 選木調査（御園地区）外部委託入札

5日 総括安全管理者現場巡視（静内・東川地区）

6日 総括安全管理者現場巡視（浦河地区）

7日 林道工事（西の沢林道益の沢線外）請負入札

7日 国際森林年「バットの森づくり植樹祭」

10日 安全点検（静内・東川・浦河地区）

11日 安全点検（静内・東川・浦河地区）

12日 定期一般健康診断（検査）

13日 署長現場巡視（東川地区）

14日 収穫調査（御園西地区）外部委託入札

15日 林道工事（春別林道外）請負入札

19日 定期一般健康診断（問診）

22日 定期一般健康診断（問診）

27日 産業医現場巡視（地区）

27日 安全衛生委員会

28日 日高総合開発期成会定期総会

28日 新ひだか町宮林友の会定期総会

29日 署長請負現場巡視（素材生産事業）

【7月】
1日 国有林野事業安全週間

1日 安全衛生管理担当者会議（交通安全講話）

1日 安全大会（救急訓練・衛生講話）

5日 選木調査（御園地区）外部委託入札

6日 総括安全管理者現場巡視（静内・東川地区）

7日 総括安全管理者現場巡視（浦河地区）

7日 林道工事（西の沢林道益の沢線外）請負入札

7日 国際森林年「バットの森づくり植樹祭」

10日 安全点検（静内・東川・浦河地区）

11日 安全点検（静内・東川・浦河地区）

12日 定期一般健康診断（検査）

13日 署長現場巡視（東川地区）

14日 収穫調査（御園西地区）外部委託入札

15日 林道工事（春別林道外）請負入札

19日 定期一般健康診断（問診）

22日 定期一般健康診断（問診）

27日 産業医現場巡視（地区）

27日 安全衛生委員会

人の動き（6月1日付）

【転入者】

○治山課長 平井 英明

（北海道森林管理局 計画部 指導普及課 企画係長）

- ◎これから夏場に向け熱中症になりやすい時期になりますので、小まめに水分補給しましょう！
- ◎食中毒に注意して、睡眠不足や風邪をひかないよう体調管理にこころがけ、適度に水分・塩分を補給しましょう！！
- ◎家族旅行・お盆に帰省する際は、安全運転と防衛運転にこころがけましょう！！
- ◎蜂の活動も活発になってきますので、現場に出るときは防蜂網・防蜂手袋・自動注射器を忘れないようにしましょう！！！！

【事務局】

